

【説明と同意文書】老人性色素斑へのQスイッチレーザー治療

□1. 病名

□2. この治療の目的・必要性・有効性

Q スイッチ付レーザーはしみの原因であるメラニン色素に吸収率の高い波長を照射し、選択的に破壊することで、しみを薄くする治療です。

通常、一度の治療で大部分のメラニン色素を破壊することができます。

□3. この治療の内容と性格および注意事項

レーザー照射後は照射部位への外的な刺激（こする、さわる）を避けてください。また、紫外線の防御を行ってください（日焼け止めクリーム、テープ保護など）。

入浴と洗顔は照射当日より可能ですが、照射部位に化粧品を塗ったり、コンシーラーなどをすり込んだりすることで、レーザー後の色素沈着が増強する恐れがあります。特に、照射より1ヶ月間、照射部はなるべく刺激しないようにしてください。

□4. この治療に関する禁忌事項

金の糸と金製剤の使用歴がある方は、治療をお受けできません。（金製剤は、リウマチの方に使用されることが多い内服・注射薬です。）

□5. この治療に伴う危険性とその発生率

レーザーの熱エネルギーにより、皮膚表面は軽いやけどの状態となり、照射部位に一致して「かさぶた」が生じます。その間はなるべく外的刺激を避けて、テープなどによる保護を行ってください。（レーザー照射後に、再度、保護の方法や経過についてご説明します。）

炎症後色素沈着

レーザー照射による炎症のため、約50%の方に色素沈着が出るという報告があります。これにより、もともとのシミより色が増強したように見えることもあります。この現象は炎症後色素着と言われ、照射後約1ヶ月をピークとし、半年から1年程度で次第に改善します。これを最小限にするため、紫外線を防御し、こすったり、さわったりといった物理的な刺激を避けてください。早期の改善を希望される方には、外用剤による治療をお勧めしています。

再発／残存

レーザーで色素を破壊してシミの色が薄くなっても、一部残ることや再発することがあります。

レーザー施術部位が1年未満に再発した場合は再施術（再診料のみ・施術料フリー）を行います。

※ エリア取り放題の施術後及び単純黒子の再発は1年保証の対象ではありません。

瘢痕化(肥厚性瘢痕)

レーザー照射部位が瘢痕になるのはまれですが、照射の反応が強かった場合や照射後の皮膚に感染を生じた場合など瘢痕を残すことがあります。

色素脱失

色素脱失(正常な皮膚の色より白くなること)が生じる場合があります。色素脱失部位の多くは、3~6ヶ月で正常に戻りますが、稀に戻らない場合やかえって色素が増強する場合があります。

テープかぶれと、それに伴う色素沈着

レーザー後の皮膚を保護するためのテープによりかぶれ、色素沈着を残す恐れがあります。テープの形に一致して赤みや痒みを生じる場合は、テープかぶれの可能性がありますので、テープ保護を中止し、医師にご相談ください。

6. 本人の個別の問題と対応

7. 偶発症発生時の対応

万が一、偶発症が起きた場合には最善の処置を行います。

8. 代替可能な治療

外用剤による治療や、光治療などがあります。

9. 何も治療を行わなかった場合に予想される経過

大きな変化はなく、現状のままと思われます。

10. 治療の同意を撤回する場合

いったん同意書を提出しても、治療が開始されるまでは、本治療を受けることをやめることができます。やめる場合にはその旨を下記まで連絡してください。

11. 費用

しみに対するレーザー治療は保険の効かない自由診療となります。レーザー照射の費用に加え、初診料や再診料、その他必要な処置や薬に対しても保険の対象ではありません。

説明者)

説明年月日： _____年____月____日 説明医： _____

(同意者)

同意年月日： _____年____月____日 同意者： _____

Beauty Tuning Clinic

住所：〒810-0001 福岡市中央区天神5丁目7-7-5F

電話番号：092-717-8640 FAX：092-717-8641